



# 黄金の森

2023年6月5日発行  
南風原町立 南風原中学校  
発行者 校長 比嘉智也  
校長だより第5号

【教育目標】 目標を持ち自ら学ぶ生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で忍耐力のある生徒

## みんなが楽しい学校生活にしていこう！

島尻地区中体連夏季総体が、台風接近の影響で10日(土)からの開始となりました。大会に参加する部員の皆さんは、もう一度心と身体の調整をし、大会で持っている力を発揮して欲しいと思います。目標が達成できることを期待しています。さて、1学期も折り返しに入りました。これまでの学校生活をふり返り、みんなが楽しいと感じることのできる学校生活にしていきましょう。

### 「集団心理」とは？

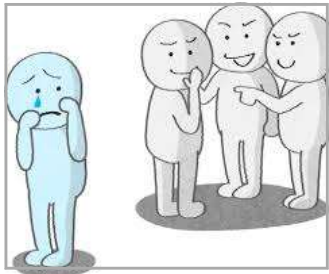
「集団心理」には、いじめに繋がることの他に、連帯感・安心感・結束力が強化されるというメリットもあります。

集団心理とは群衆心理とも呼ばれており、群衆の中で生まれる特殊な心理状態のことを指します。人間は集団になることで我を忘れて興奮してしまったり、冷静さが失われ衝動的な行動をしてしまったり、およそ理屈では考えられないような非論理的な行動とってしてしまうことがあります。

冷静に考えればいじめのように他人に危害を加えたり不快な思いをさせる行為は、理性が働いている状態であれば、まずすることはないでしょう。しかし、人が大勢集まり集団となってしまうと、次のような状態になり、他人をいじめることに対する抵抗が失われてしまうことがあります。

#### ○集団の一因であると感じて強くなったと錯覚する

1人では何もできないのにグループになると急に元気になって勢いづくと言う現象です。



集団になる事は、他人を攻撃しやすく自分を守りやすいというメリットがあり、いじめ加害者の立場と非常に相性がいいと言われています。

#### ○罪悪感の希薄化

1対1の状況でいじめるよりも、1対集団になっていじめた方が「他人を傷つけてしまっている」と言う罪悪感を薄れさせしまいます。

それどころか、いじめそのもの危険なものである、道徳に背いているものであることすら認知しにくくなると言われています。

#### ○責任感の希薄化

いじめの加害者によく見られるのが、「いじているのは私1人だけじゃないから、私だけが非難されるのはおかしい」と開き直ってしまうことです。

集団心理には罪悪感だけでなく責任感も希薄化することがあります。

#### ○「多数派=正義」という短絡な思考

ある人間関係の集団が多数派であった場合「多数派=正しい」という考え方を生んでしまうことがあります。この正しさが暴走すると、いじめを肯定する正しさへと繋がってしまったり、正しさをゆえに「自分が行っているいじめ=正義の鉄槌」という考え方の歪みを生んでしまいます。

### 民主主義とは？



皆さん、これまでに民主主義という言葉を知ったことがあると思います。

「民主主義」とは、可能なかぎり個々人の自由を尊重しながら、すべての人々の幸せを実現するという、すぐには両立できない答えを対話を通して探し出し、合意し実現していくことです。

【次頁あり】

民主主義の原則は、「一人ひとりが、みんな自由に生きられる社会」ということです。  
民主主義は、「ある一定の条件つきでみんな自由に生きていい」という前提の上に成り立っています。「みんながOK」になるには、被害を受ける人間が一人も出ない状態が必要です。

このような考え方を形にしたのが、社会にある「法律(決まり)」なのです。

法律(決まり)は「人間どうしが自由に生きること

で起きる対立を調整するためのしくみ」と言うことができます。  
民主主義は、自分の自由を尊重しながら、他人の自由を侵害しない方向で自由な社会をつくっていくための「しくみ」です。

ルールを守るために人間が存在しているわけではなく、人間の生活をスムーズにするためにルールがあるのです。

皆さん、この南風原中学校でも「他人の自由を侵害しないせず、一人ひとりが、みんな自由に生きられる社会」の実現へ向けて頑張っていきましょう。



#### 校長クイズ

- 1 暗号好きな母さんが「あいいえお」してね。さて何？
- 2 暗号好きな母さんが「まみもめむ」買ってきて、何？

#### 前号クイズの解答

- 1 勝海舟(カツ回収)
- 2 オートバイ(追うと倍)